

本書について

本書は、ジャパントイムズのロングセラー本『TOEIC[®] テスト必
修単語』（45刷、127,200部）の姉妹本として刊行され、同じよう
にロングセラー（28刷、69,000部）となった『TOEIC[®] テスト必
修イディオム』の改編復刻版です。

単語本同様、奥付では「編集協力」となっていましたが、実際には執筆から編集まですべてナラボー・プレスが行ったものでした。

この本は、2006年のTOEIC[®] L&R Testの改訂に伴って『TOEIC[®] テスト 新・必修イディオム』が出版されて絶版となりました。しかし、実際のTOEIC[®] L&R Testのジャンルを超えた文化背景などが豊富なイディオムが数多く学習できることから、復刻の声もときどき聞かれました。

こうしたいきさつがあり、このたび少し手を加えて編集し直し、復刻版として出版することになった次第です。

本書の特長と構成、 そして効果的な学習の進め方

本書には、上級レベルの英語学習には欠かせない、さまざまな文化や歴史を背景とするイディオムが、約1,200収録されています。また、イディオムを英語のニュアンスで覚えられる「英語による説明」や、また、同じような意味を表すイディオム、反対の意味のイディオムなども豊富に掲載されています。

こうしたイディオムを、本書では、TOEICの出題形式に沿った文章の中で音声といっしょに覚えるようになっていきますから、イディオム学習が即TOEICの受験対策にもなるというわけです。

■ 本書のイディオムと実生活での使われ方

日本語の慣用句でもそうですが、史実に基づくものや文化的に培われてきたもの、スポーツに関したものなどが多いものです。英語のイディオムにも、そうしたバックグラウンドを持つものがたくさんあります。

TOEIC のセンシティブティ・レビューとイディオム学習

TOEIC は異文化間の共通の英語コミュニケーション能力を測るテストです。世界中の受験者が平等に受験し、その文化背景が異なるために不利になるようなことにならないようになっています。センシティブティ・レビューという作業で、特定の文化的色彩の濃く出た表現は問題に使わないようにしています。

本書では TOEIC の受験対策も兼ねていますので、そうした文化的色彩の濃いイディオムは極力採用しないようにしました。しかし、応答文や会話文のニュアンスを的確に伝えるために欠かせないと判断したイディオムは採用してあります。

また、日本の辞書やイディオム集のなかには、今では実際にはほとんど使われなくなっている表現も少なくないようです。本書では、複数のネイティブ・スピーカーたちと協議を重ね、日常的に広く使われているものだけを収録しました。こうした「**今の生きたイディオム**」のリズムを習得していきましょう。

単語を覚えるときもそうですが、イディオムの場合はもっと日本語との 1 対 1 の丸暗記方式ではまったく効果がありません。英文の中で、そのイディオムがどういう意味で、またどういう役割を果たしているのかを確認しながら習得していく学習をしないと、しっかりと理解して覚えることができません。

■ 本書の特色と構成

特長 1 — TOEIC の出題形式でイディオムを習得していきます。

TOEIC の出題形式に合わせた英文の中でイディオムを覚えていきますから、TOEIC の出題形式に慣れた人には、進めやすい学習方法でしょ

う。ですが、本書は TOEIC 受験対策だけの本ではありません。他の英語の試験やビジネスなどで使うイディオムを幅広く収録してあります。

そして、音声とからめて学習しますから、今の生きたイディオムがすんなりと覚えられるようになっています。

本書では特に、その Part の出題傾向に合わせて関連イディオムを豊富に紹介しています。例えば、Part 5 では見かけが似かよって紛らわしいイディオムを多く取り上げ、Part 6 では同じような意味で使われるイディオムや反対の意味を表すイディオムを多く取り上げました。

特長 2 — 文の中で覚えるので、イディオムが確実に定着します。

本書では、TOEIC の出題形式に即して、応答文・会話文・文章問題などの中にイディオムをバランスよく盛り込み、文脈の中ではどのような意味で使われているのかがよく分かるようにしました。ダウンロード音声と合わせて学習しながら、イディオムのもつ心地よいリズムも習得していきましょう。

特長 3 — 短期集中型の学習で、イディオムとニュアンスを覚えます。

単語やイディオムは短期集中型の学習が効果的です。時間をかけすぎると、忘れてしまうものが増えるからです。

本書では、30 日での学習を目標としました。

各ページの上に日付を書く欄があります。そこに、まず学習予定日を書き入れましょう。そして、その予定日より早く学習するように努力しましょう。早く終わったら、また予定日を修正して書き入れます。そうすることで、学習予定日を守ろうとする気持ちが働きますし、また、予定を早めて多めに学習しようというモチベーションも沸いてきます。

特長 4 — 巻頭インデックスで目標が立てやすくなります。

本書ではインデックスを巻頭に置きました。このため、自分が知りたい、また覚えたいイディオムがどこにあり、どういう状況で使われているのかが分かりやすくなりました。学習計画が立てやすくなり、そして

学習履歴が明確になります。

■ 英語のイディオムを英英辞典的ニュアンスで理解します。

日本語を介在させた学習も初期の学習では必要です。ですが、そのイディオムの持つニュアンスを確実に習得するには、英語で理解することも大切です。本書では、こうした学習の一助として、英英辞典的要素を採り入れました。

見出しとして掲載したイディオムのあとに〔同〕として、文中で使われている意味を英語で表現しました。言わば「**英英辞典**」です。「同じ意味を表すイディオム」ということではありません。イディオムの意味を英語でストレートに説明したものです。この表現を参考にしてイディオムを覚えると効果が倍増します。

その他：

- ① — 見出しとして取り上げたイディオムの意味を日本語で説明しています。また、例文の中で使われた意味ではなくても、ほかの状況でも頻繁に使われる重要な意味も足してあります。
- ② — 単語と同じように、イディオムにも同じ意味を表すもの、似た意味のイディオムなどがあります。この記号のところでは、意味は似ていてもまったく同じではないイディオムを紹介しています。
- ③ — この記号のあとには、見出しのイディオムとは反対の意味を表すイディオムを紹介しました。
- cf. — 使われている単語が同じだったり似ていたり、また意味が紛らわしくて間違えてしまいそうなイディオムを紹介しています。見出しのイディオムと関連させ、しっかりと区別して覚えておきたい関連イディオムです。

音声の効果的な使い方

本書には、MP3 音声が付いており、すべての例文が収録されています。

■ リスニングは耳だけが頼り

リスニングは、聞こえる英文だけが頼りです。ですから、イディオムを字面でいくら覚えていても、それがどういう音になるのかを耳にしっかり覚え込ませておかないと役に立ちません。イディオムの場合は特に単語の集まりですから、文や会話の中でまとまって発音されると、見た目よりずいぶん違って聞こえるものです。文の中で、どういう役割でどんな音声になるのかを確認するためにも、音声は必ず活用してください。

■ 全体概念を捉えるということ

単語やイディオムを覚えるということは、英語の一部、つまり部品を知ることです。こうした部品をかき集めることが英語の勉強だと思っている人も少なくありません。英語学習はプラモデルを作るのに似ていて、まず全体を見て必要な部品を考え、それを揃えていくことが大切です。やみくもに揃えても、全体像が見えないことがあります。

全体を見てどういう部品が必要なのかを知るためには、聞こえてくる英文の状況をいち早くキャッチすることが非常に大切です。こうしたことから本書では、応答文や会話文の前に状況を示すタイトルを付けました。状況判断ができれば、使われているイディオムの習得度もぐんとアップするのです。

こうしたことを念頭に、総合的な学習でイディオムの力をつけていってください。